

平成31年3月22日
田川郡教育研究所
所長 高橋 孝徳

研究紀要「第58集」の発刊にあたって

田川郡教育研究所では、小学校では2020年度、中学校では2021年度から全面実施になる次期学習指導要領の趣旨を十分に踏まえて、円滑な移行ができるように、また、本年度から実施されている移行措置の内容にも留意しながら研究を進めてきました。

昨年度より、研究主題を「「生きる力」を育む学習指導の研究～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して～」と設定し、本年度は2年次になります。

本年度も、研究員の先生方（各教科等部会）より貴重な実践事例をご提出いただき、研究紀要「第58集」を発刊する運びとなりました。各先生方の日頃の教育実践に対する熱意が感じられ、ご努力に対し、心より敬意と感謝を表します。

さて、小中学校では、次期学習指導要領の改訂に伴う移行措置1年目が終わろうとしています。一方、本年度は小学校の教科書検定、来年度には中学校の教科書検定が行われる予定になっており、着々と次期学習指導要領の完全実施に向け進んでいます。

移行措置に伴い、郡内各小中学校でも、「生きる力」を育む様々な実践がすすめられ、また、ICTなどの現代的課題に対応した取り組みも積極的に取り組まれるようになってきています。今回の研究紀要第58集の中にも新たな実践が含まれております。

また、人材育成も大きな課題となっています。小規模校が多い本郡において、悩み事を気軽に相談したりなど、身近な先輩教師から学ぶ機会が少なく、特に教科指導に関することは町村の枠を超えた教科等部会など横の連携が必要だと考えます。

本研究所としましても、主催事業の研修員研修会をはじめ関係機関との連携事業の研修会への参加奨励、郡教科等部会や人材育成事業の推進に努力していく所存です。

この研究紀要の発刊で、特に若年層の先生方の日々の実践の参考になり、ひいては、田川郡の子どもたちへのよりよい教育の充実のための一助となればと願っております。郡内の多くの小中学校で日常的に活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、当研究所の事業の推進に対しまして、日頃よりご支援とご協力を賜りました田川郡町村会並びに田川郡地教委連絡協議会、福岡県教育庁筑豊教育事務所、田川郡小・中学校校長会並びに教頭会の皆様に衷心より感謝申し上げます。

また、本研究紀要発刊にあたり、ご執筆いただきました研究員並びに実践に取り組まれた先生方、そして、ご指導いただきました各部担当の校長先生、教頭先生方にお礼を申し上げますとともに、皆様の今後ますますのご活躍を祈念いたします。